

経済動向調査

2020年7月～9月

景気・消費・需要等動向に
関する情報の収集・整理

2020年12月

佐久穂町商工会

I 景気情報等の収集整理

・中小企業景況調査報告書

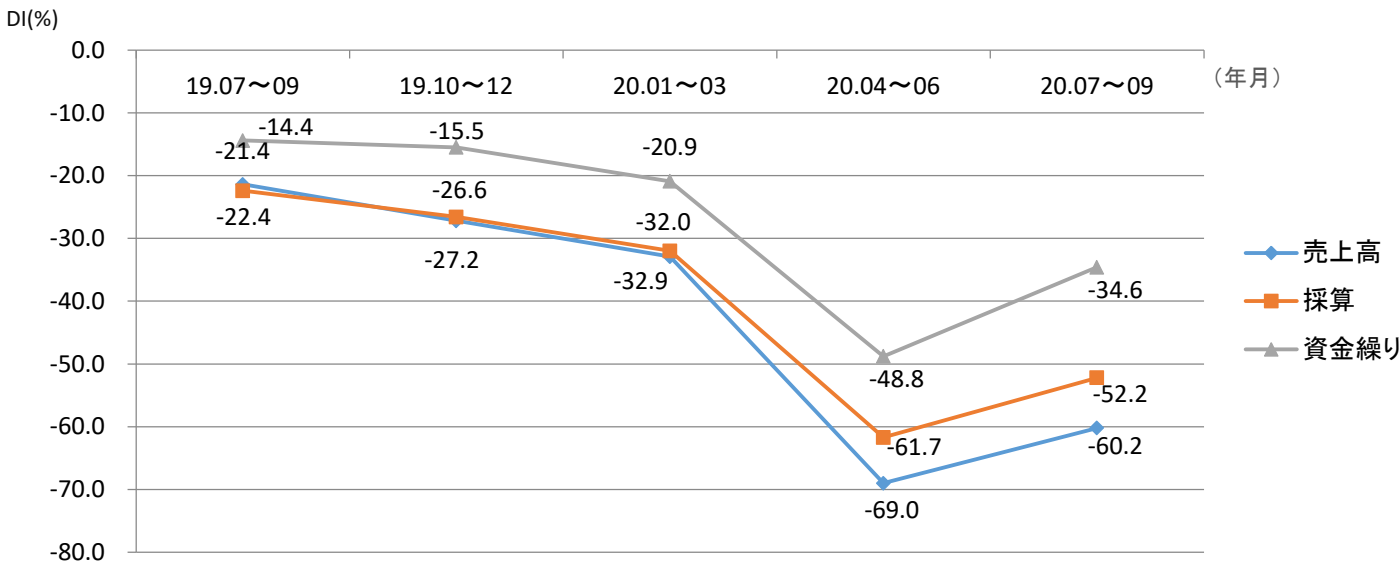
(全国:2020年7月～9月)

・小規模企業景気動向調査

(近隣都道府県経営指導員のコメント:2020年7月～9月)

※DI(景気動向指数)は、各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す

〈産業全体〉コロナ禍の急落からやや戻すも苦境が続く



【経営指導員のコメント】

・先行き不透明なコロナ禍による経済の停滞に尽きる。小規模な事業者になればなるほど、持続化給付金や家賃給付金で落ち込みを補填しているものの、長続きはしないと考えられる。非対面ビジネスモデルへの転換、テレワークの推進など言われているが、業種によっては非対面が難しく、現場仕事であるためテレワークができないものもあり、国の方針が当てはまらないケースも多い。コロナを完全に抑え込むことは現段階では難しく、今までのような景気まで回復することはないと考えられることから、低調ながらもコロナの感染予防を図りながら、経済を回していく必要がある。

(富山県富山市南商工会 婦中支部センター 7月)

・先月に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により業績悪化を招いている事業者が多いが、感染対策や新商品・新サービス開発、事業転換などにより、回復に転じている事業者も一部見られ、バラつきが大きくなっている。再度国内で感染が拡大しており、感染拡大第2波の到来による更なる業績悪化を懸念する声も多い。また、3月～5月頃までは、資金繰りの悪化による融資や給付金の活用を求める声が大きかったが、国や行政の各種施策制度の活用により、現在は当面の必要資金は確保できている状況とみられる。その為、感染対策や新商品・新サービス開発、事業転換など、今後の事業戦略を検討し始める事業者が増加しているように思われる。

(岐阜県本巣市商工会 7月)

・当地域は宿泊業が半数を占めており、首都圏などでコロナウイルス感染が収束しない状況下で合宿客や帰省客が大幅に減少したことにより、春よりも経済的に厳しい状況になっている。グレードの高い宿泊施設、外作業の建設業など一部の事業者は売上が増加しているが、大多数の事業者は売上が大きく減少しており、宿泊業などでは春先よりも厳しさが増している。

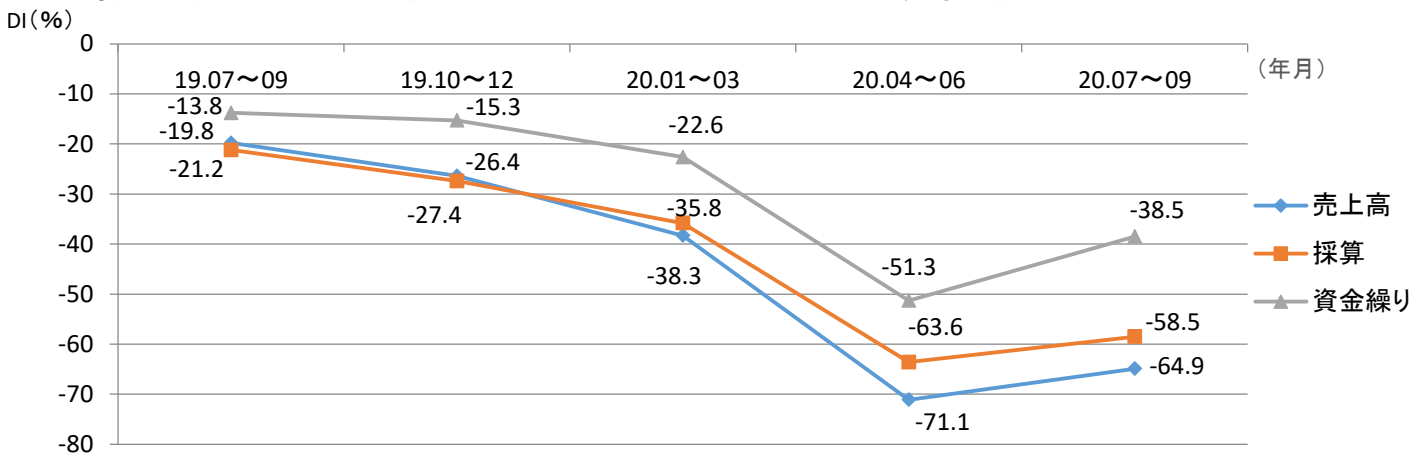
(妙高高原商工会 8月)

・金属加工関連の製造業は元請けからの受注量が減っており依然として厳しい状況。今後さらに厳しい見通しの企業も多い。食品製造業は、飲食店からの注文が少なく受注が減っている一方、ECサイトでの個人向け販売が好調のため、日持ちをする製品の製造開発を進めネット販売強化を進めている。日本酒製造業は飲食店からの受注が少なく苦戦。新酒PRなども試飲会ができないためこれまで以上に新規取り込みが難しくなっている。各種展示会や販売会が中止の中、イエナカ需要の高まりやオンラインサービスなどをうまく活用できるかが大きなカギとなっている模様。

(佐久市望月商工会 8月)

〈製造業〉

輸出関連の一部で下げ止まらず全般に改善幅は小さい



【経営指導員のコメント】

・製造業においてもBtoCが比較的容易にできる食料品製造業については、コロナウイルスの影響に起因する巣ごもり消費の増加といった機会を捉え、ネット販売における売上が増加しているという事例がある。

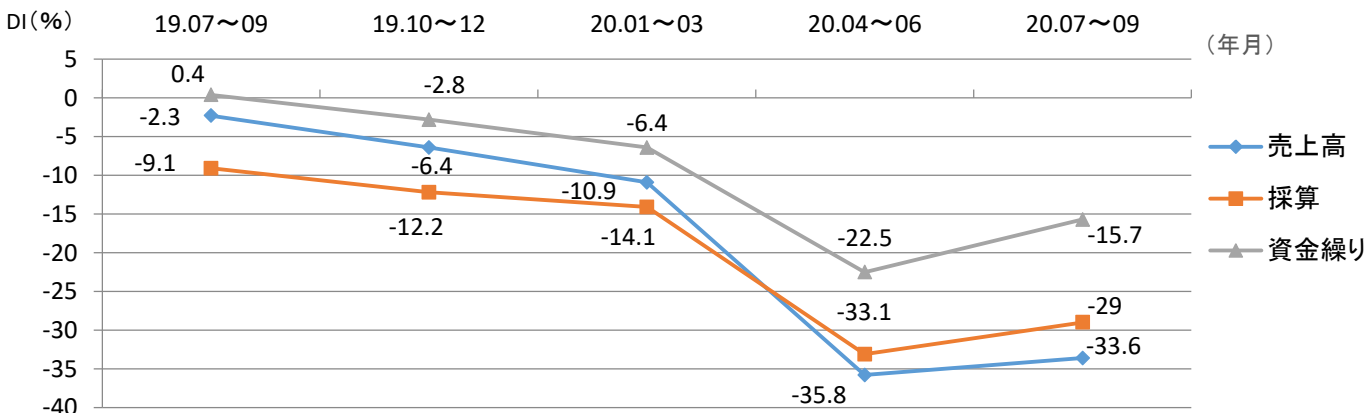
(埼玉県幸手市商工会 7月)

・金属加工関連の製造業は元請けからの受注量が減っており依然として厳しい状況。今後さらに厳しい見通しの企業も多い。食品製造業は、飲食店からの注文が少なく受注が減っている一方、ECサイトでの個人向け販売が好調のため、日持ちをする製品の製造開発を進めネット販売強化を進めている。日本酒製造業は飲食店からの受注が少なく苦戦。新酒PRなども試飲会ができないためこれまで以上に新規取り込みが難しくなっている。各種展示会や販売会が中止の中、イエナカ需要の高まりやオンラインサービスなどをうまく活用できるかが大きなカギとなっている模様。

(佐久市望月商工会 8月)

〈建設業〉

回復の足取りは鈍いものの他業種と比べ高水準



【経営指導員のコメント】

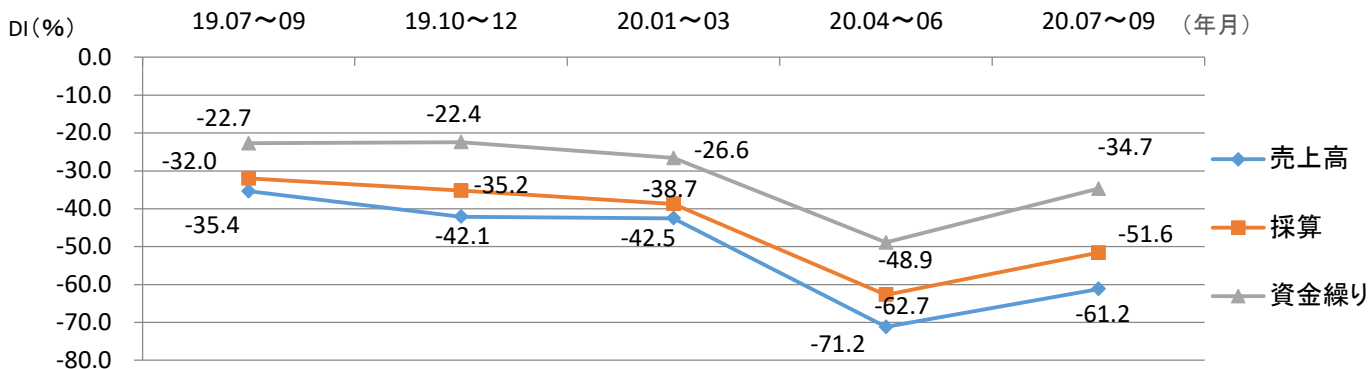
・新型コロナウイルス感染症の影響で特にリフォーム業が現場に入れず苦戦している。

(埼玉県鳩ヶ谷商工会 7月)

・土木関連では、去年の台風災害復旧工事関係がいまだ多く、今年度の台風シーズン前の工事完了を目指しているため、業者や人手が足りない状態。また、石工工事業者は来年の善光寺御開帳に合わせた公共工事の受注が遠方からもあり今年度中は受注量が確保されているとのこと。一方、建築関連は企業間格差が大きい。大規模な受注を受けている中堅企業もある中、これまで地元企業に下請けに出していた仕事も他県業者に出す場合も多く、小規模零細事業所は苦戦を強いられている事業所も多い。

(佐久市望月商工会 8月)

〈小売業〉超低水準ながら広範な回復傾向がみられる

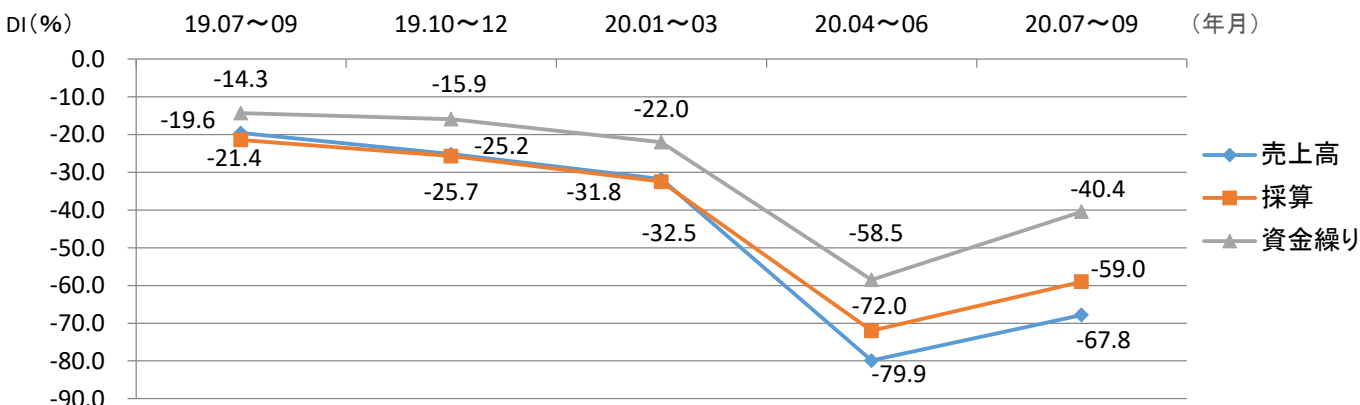


【経営指導員のコメント】

・衣料品関係については、新型コロナウイルス感染症の自粛傾向がまだ消費者の方に強く残っているため、悪化している。食料品関係については、野菜等が長雨や災害の影響で値上がりしていることもあり、やや後退気味である。
(岐阜県古川町商工会 7月)

・食料品関連の小売業は、新型コロナウイルス感染症の影響で、消費の流出が減り、町が住民に商品券を交付した影響などで、売り上げを維持している。
(南木曽商工会 9月)

〈サービス業〉大幅改善するも、飲食店、宿泊業中心に記録的な低水準に



【経営指導員のコメント】

・サービス業においても、小売業と同じく、新型コロナウイルス感染症による営業自粛要請を受けた事業所においてはその間の収入が無くなり、資金繰りの悪化を招いている。特に、宿泊業・飲食業は、大きく業績が悪化している事業者が多い。理美容業については営業自粛要請の対象とはなっていないものの、特に従業員が多く座席数の多い店舗ほど避けられる傾向が強く、来店客数が大きく減少している。日頃から常連客を相手にしている小規模な理美容店については、比較的影響は少ないようである。

(岐阜県本巣市商工会 7月)

・県が実施した宿泊応援割引やGoToトラベル等により、コロナ感染拡大防止の為、満室になる予約の受け方はしていないということだが、宿泊客が増加している。

(石川県白山商工会 7月)

・理容業、美容業ともに顧客は戻ってきているが、必ず対面によるサービス提供になるため、感染症予防への対策に費用が掛かっている(アクリル板や空気清浄機の購入や換気扇設置工事など)その他、飲食店は一時期お客様が戻りつつあったが、感染者拡大に伴い、再度お客様の来店自粛の傾向が見え始めている。お客様の数が少ないため、時短の要請はないものの、自主的に閉店時間を早めている店舗もある。また、一部の飲食関係では、店内飲食にこだわらず、テイクアウトや宅配にシフトすることに注力しており、売上の落込みを僅かで留めている事業者も散見される。

(富山県富山市南商工会 婦中支部センター 7月)

Ⅱ 行政の統計情報・民間の景況情報の収集整理

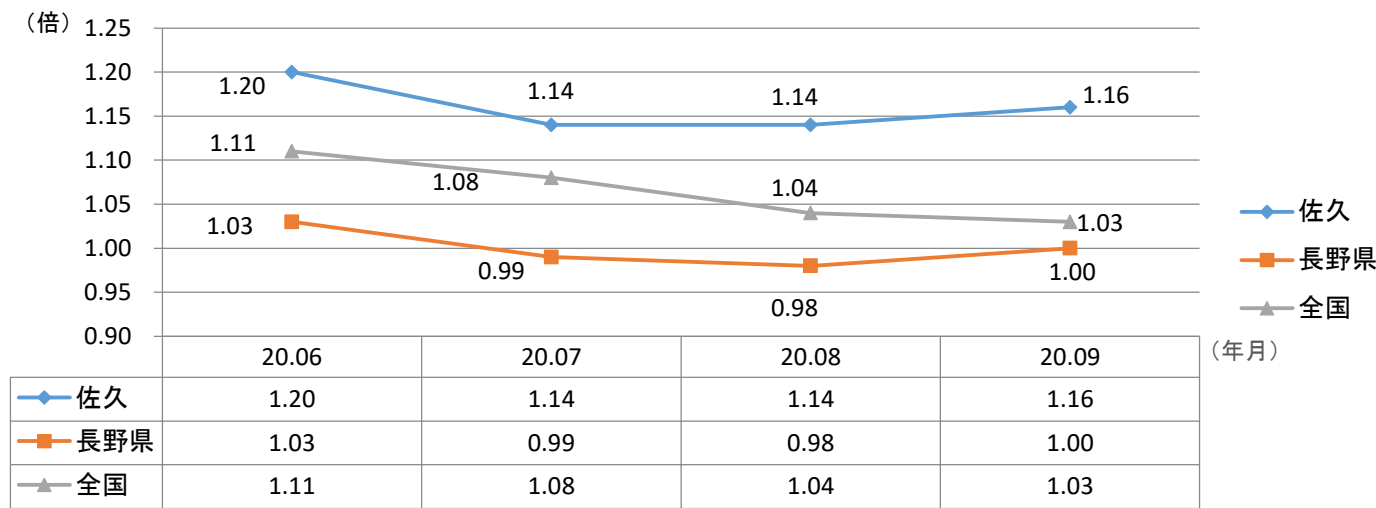
1. 人口動態

	人口			世帯数		
	2020.6.30 現在	2020.9.30 現在	増減	2020.6.30 現在	2020.9.30 現在	増減
佐久穂町	10, 117	10, 068	△49	3, 924	3, 910	△14
小海町	4, 330	4, 318	△12	1, 821	1, 813	△8
佐久市臼田	13, 110	13, 028	△82	5, 674	5, 662	△12
佐久市全体	98, 402	98, 391	△11	40, 422	40, 500	78

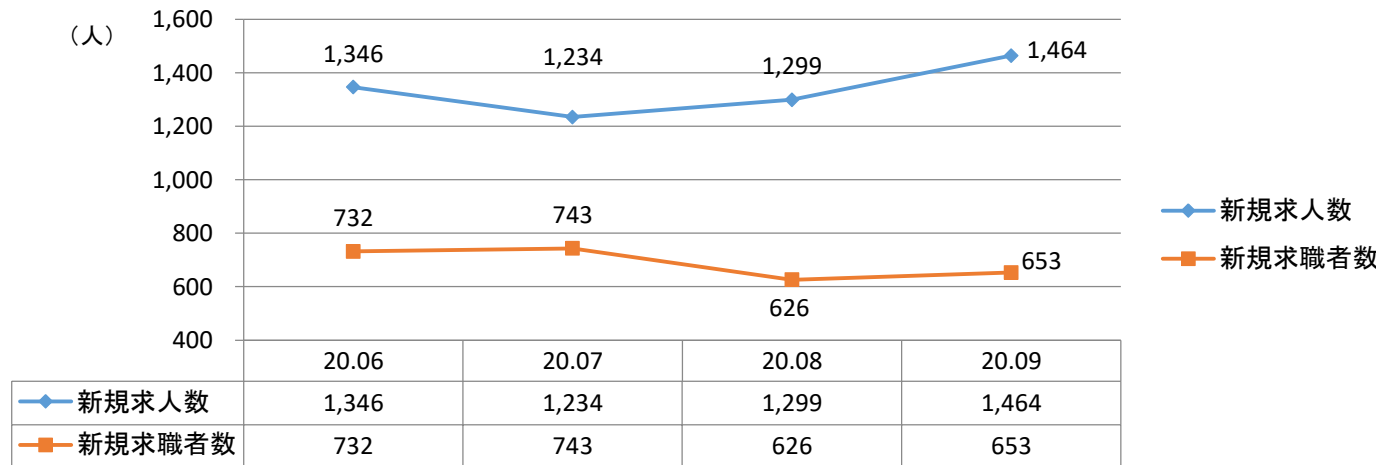
2. 雇用情勢

※(佐久)はハローワーク佐久と小諸出張所の合算値

①有効求人倍率の推移(佐久・長野県・全国)



②新規求人数と新規求職者数の推移(佐久)



(資料)ハローワーク佐久「業務月報」

3. 生産動向

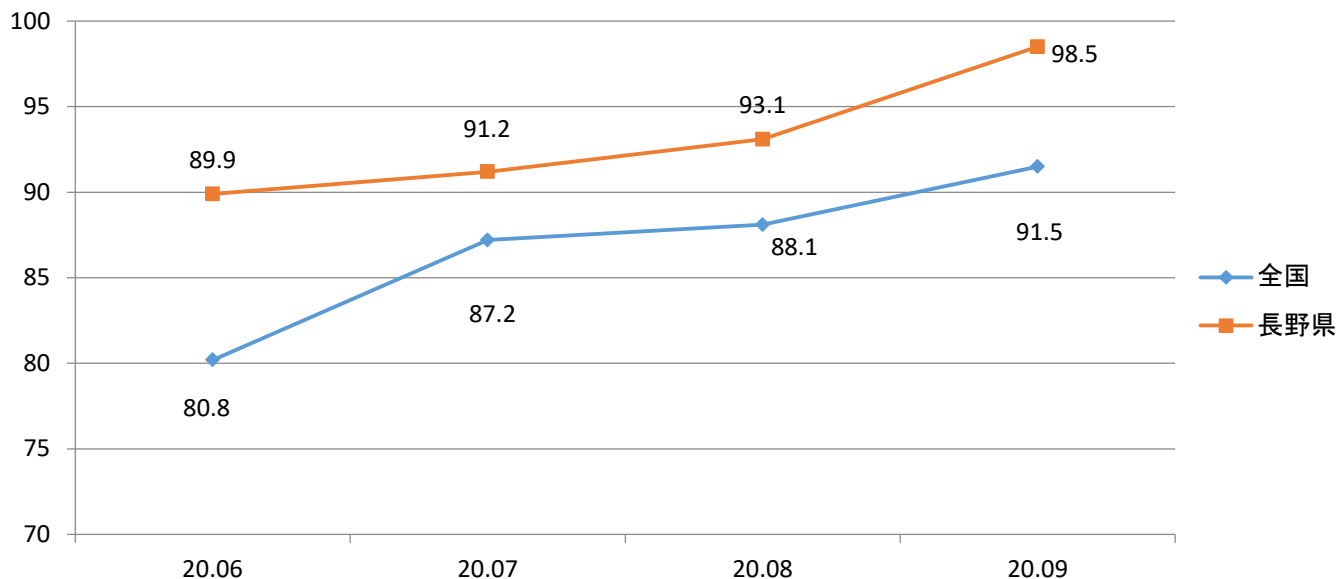
長野県鉱工業指数は、生産は3か月連続の上昇

鉱工業生産指数

※鉱工業生産活動の全体的な水準の推移を示します。

(季節調整済み指数)

(2015年=100)

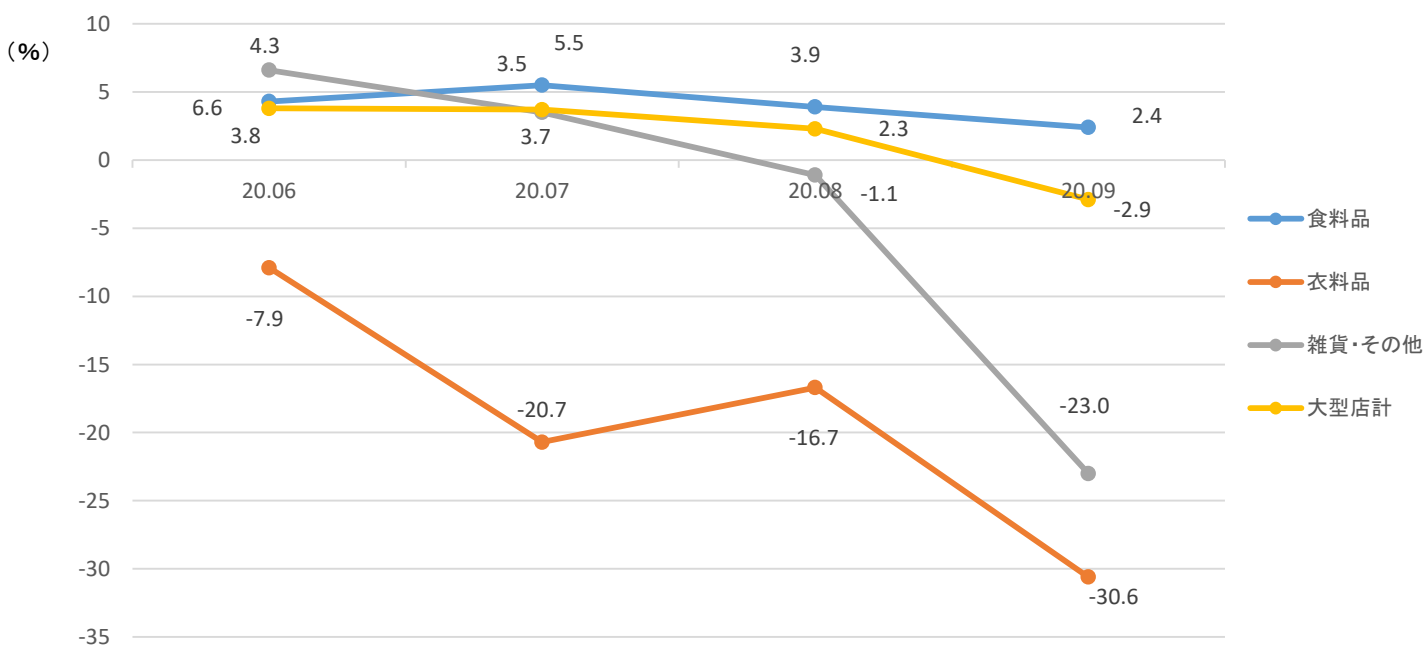


(資料) 長野県「長野県鉱工業指数」・経済産業省「鉱工業指数」

4. 個人消費

食料品は生鮮食品は好調だがその他は消費税増税の反動を受ける

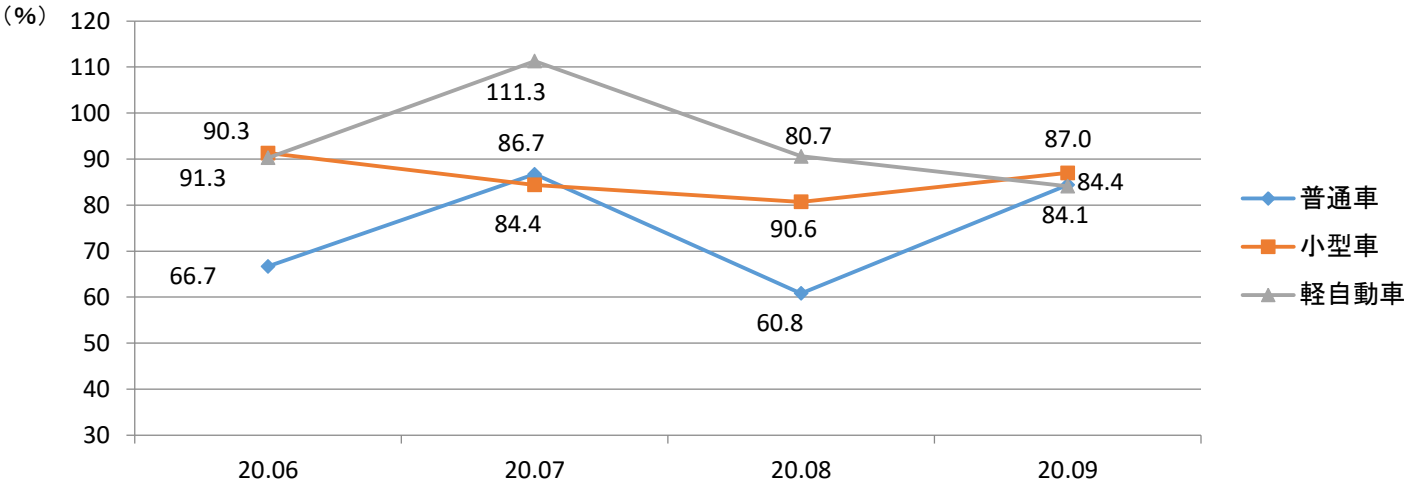
大型小売店売上高(売上前年比)



(資料) 長野経済研究所「長野県内大型小売店売上高の動向」

乗用車新車販売は12カ月連続で前年を下回る

新車登録台数前年比

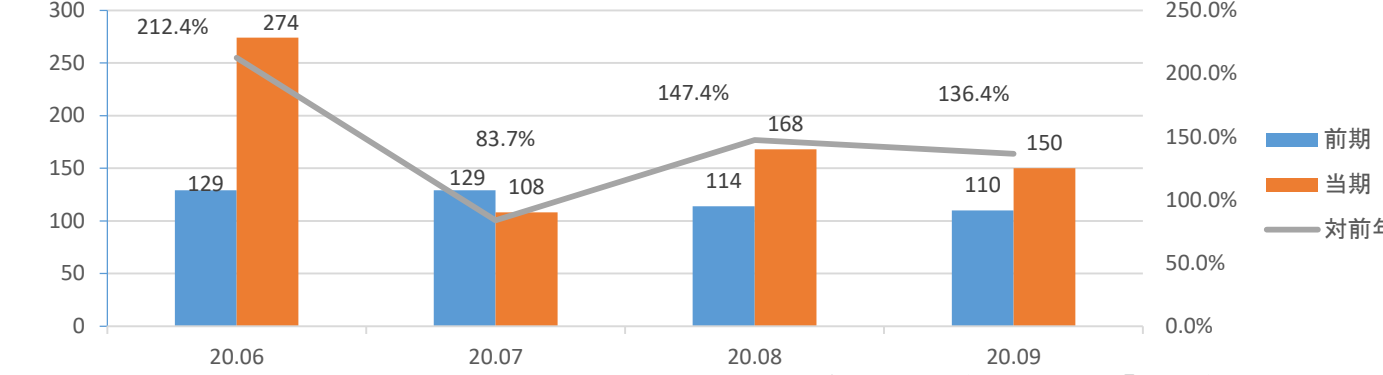


(資料) 北陸信越運輸局長野運輸支局「長野県における新車新規登録台数の推移」

5. 建設投資

新設住宅着工戸数は2カ月連続で前年を上回る

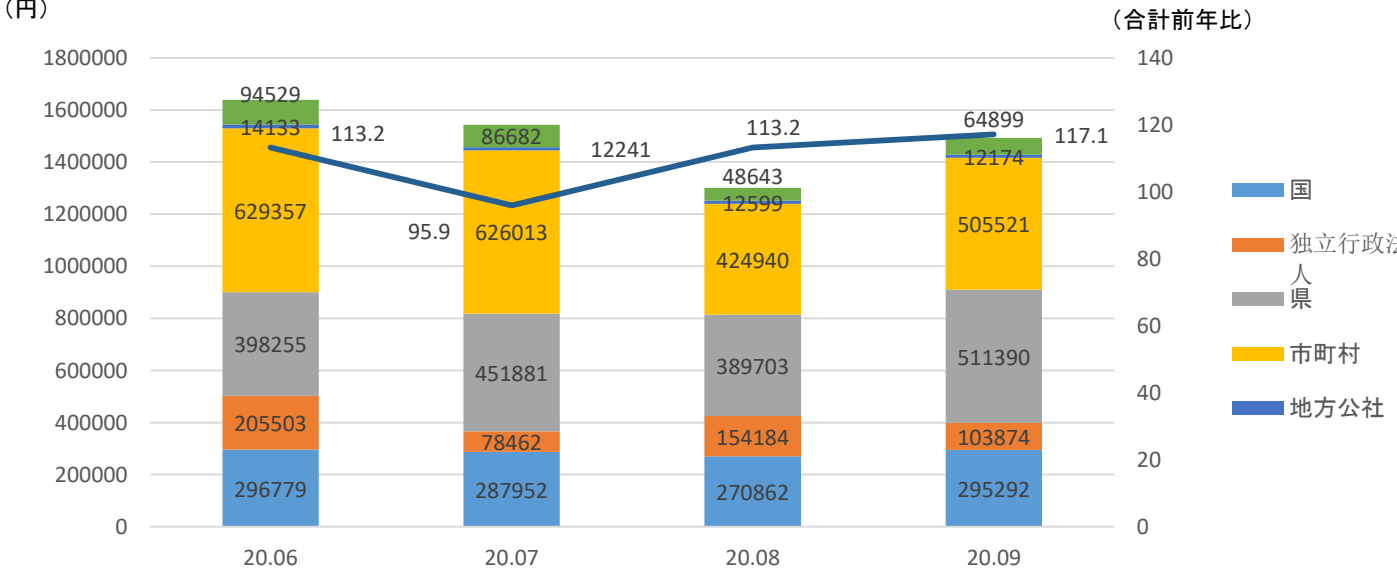
佐久地域月別着工戸数



(資料) 長野経済研究所「主要経済指標」

公共工事保証請負額は上昇に転じたものの、今後の情勢は不透明

公共工事保証請負額

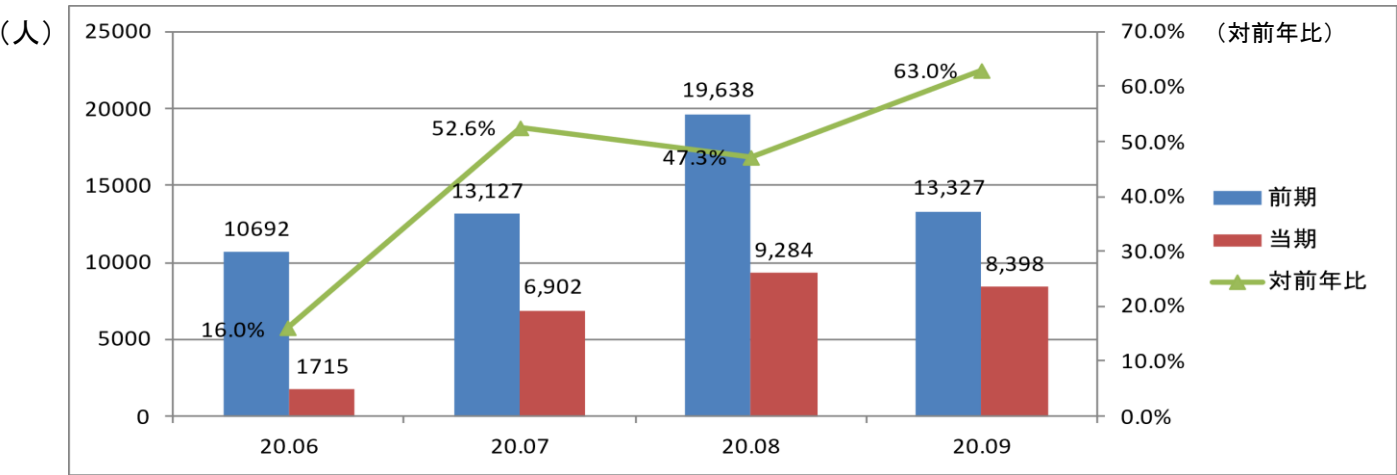


(資料) 東日本建設業保証株式会社「工事場所別・発注者別保証実績表」

6. 県内交通

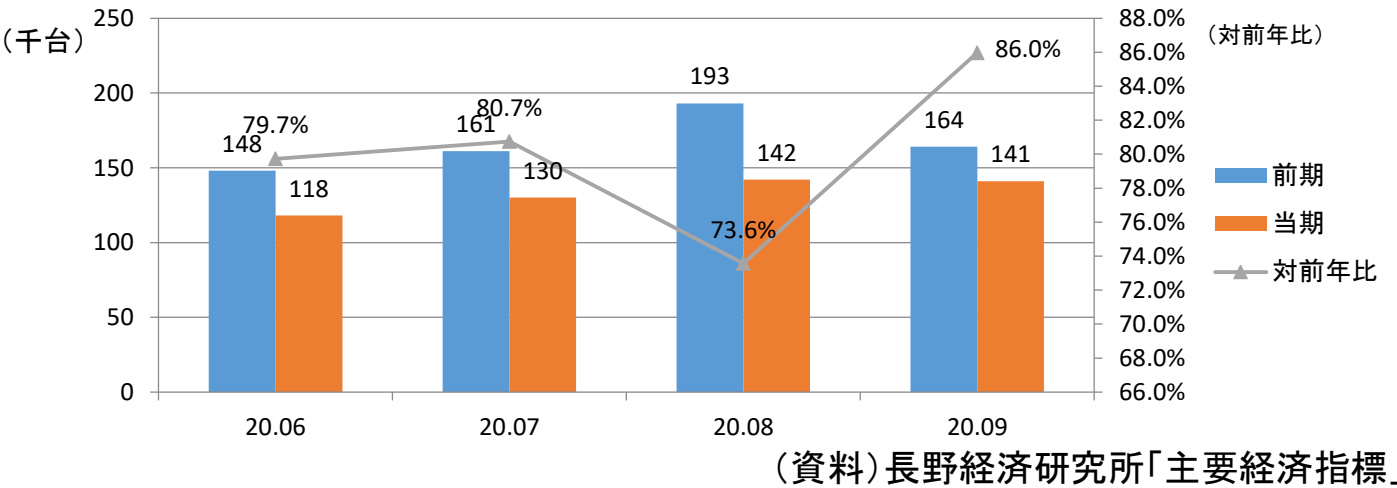
松本空港利用者数は、新型コロナの影響で壊滅状態

松本空港利用者数



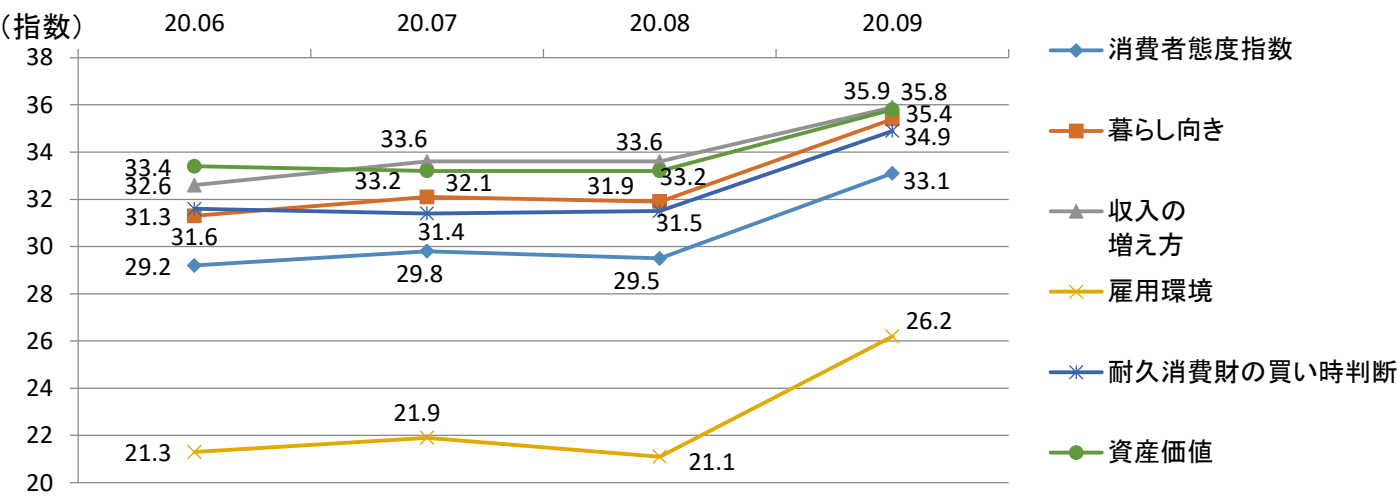
佐久インター出入り交通量は、松本空港同様新型コロナの影響を受けた

佐久インター出入り交通量



7. 内閣府の消費動向調査

※消費態度指数: 指数50が判断の分かれ目で、50を超えれば消費意欲が旺盛で、下回れば意欲が減退していることを表します。



Ⅲ 新聞等の記事より

信越の路線価、下落率が縮小 先行きには不透明感

2020/7/1 日本経済新聞

関東信越国税局は2020年の路線価(1月1日時点)を公表した。標準宅地の前年比変動率は、新潟県がマイナス0.5%で、前年より下落率が0.3ポイント縮小。長野県もマイナス0.1%で0.2ポイント縮小した。下げ止まり傾向が見られるが、先行きは新型コロナウイルスの感染拡大で不透明感が増している。

長野県内の中小企業 景況見通し「悪い」68%

2020/8/11 日本経済新聞

長野県中小企業団体中央会がまとめた「中小企業の景況把握のためのアンケート調査」(調査期間:令和2年6月15日～7月31日)によると、今年後半までの景況見通しを「悪い」と回答した企業が、全体の68.4%を占めた。新型コロナウイルスによる営業自粛などが影響した。「前回同様」との回答は27.7%で、「良い」との回答は3.9%にとどまった。新型コロナの経営への影響については、68.5%が「悪い影響を受けた」と回答した。

信州のお盆の人出は低調 コロナの影響鮮明に

2020/8/14 日本経済新聞

新型コロナウイルスの影響で、信越のお盆期間中の人出が2019年を大きく下回っている。国の「GoToトラベル」キャンペーンは実施されているものの、帰省や観光を慎重にするよう呼びかける自治体もあり、遠出を諦める人も多いようだ。JR東日本によると、上越・北陸新幹線の8日以降の乗車率は自由席で5～30%ほどにとどまる。例年のお盆期間だと100%を超えることもあるが、帰省の自粛が広がったことなどで落ち込んでいる。

長野県、新型コロナの失業者の就職支援を開始

2020/8/21 日本経済新聞

長野県は、新型コロナウイルスの影響で失業した人などを対象にした就職支援事業を始めた。求職者はインターネットや電話などでの申し込みを通じて、意向に沿った就職先を案内してもらえる。雇用の下支えにより、新型コロナで落ち込む県内経済の早期回復につなげる。

長野県、コロナ対策で40億円の追加補正案

2020/9/26 日本経済新聞

長野県は9月補正予算案に40億円を追加すると発表した。会期中の9月県議会に提出済みの補正予算案と合わせると、一般会計総額で795億円となる。国が予備費を活用した新型コロナウイルス対策を打ち出したことを受け、関連事業を追加した。コロナによる休業などで収入が減った世帯への貸付に23億円を計上した。患者を受け入れる医療機関が空き病床を確保するための助成には12億円を追加。検体採取を実施する医療機関などへの協力金支給に4億円を盛り込んだ。

長野・軽井沢の観光入込客数、45%減 7～8月

2020/9/29 日本経済新聞

長野県軽井沢町は7～8月の観光入り込み客数が195万9千人と前年を45%下回ったと発表した。推定される観光消費額も前年比46%減の52億9千万円だった。新型コロナウイルスの感染拡大が大きく影響した。

交通機関別では、鉄道利用者が約60%減となったのに対して、車両利用者37%減と比較的落ち込みが小さかった。また、8月1日時点で町内の別荘に実際に人がきているか調べたところ、前年同期を3.2ポイント下回った。

参考資料

- ・全国商工会連合会
 - 「中小企業景況調査報告書」
 - 「小規模企業景気動向調査」
- ・ハローワーク佐久
 - 「業務月報」
- ・長野経済研究所
 - 「長野県内大型小売店売上高の動向」
 - 「主要経済指標」
- ・北陸信越運輸局長野運輸支局
 - 「長野県における新車新規登録台数の推移」
- ・東日本建設業保証株式会社
 - 「工事場所別・発注者別保証実績表」
- ・内閣府
 - 「消費動向調査」
- ・経済産業省
 - 「鉱工業指数」
- ・長野県企画振興部情報政策課統計室
 - 「長野県鉱工業指数」
- ・日本経済新聞